

西郷どんとさるく 温故維新マップ

ふる故きを温ねて 維新を知る

4

城山

西郷洞窟

西郷屋敷終焉之地

西郷星 城山に輝く

桜島と鹿児島のまちを見渡せる城山は、西南戦争での薩軍最後の決戦の舞台となりました。熊本城の攻防戦に敗れた薩軍は、田原坂や吉次峠などで奮闘するも更なる窮地へと追い込まれていきました。延岡の児玉家にたどり着いたときは最大で三万いの兵が三千五百ほどになっていたといいます。西郷どんは、ついに解軍言。陸軍大将の軍服を焼き、「二匹の犬を放しました。大事にしていた二つのものを手放し、死の覚悟を決めたのです。二匹はしばらくそばを離れず鳴き続けたといいます。その後、二匹は、なんと鹿児島の家に帰り着き、もう一匹も保護され、西郷どんの犬として大切に育てられたと伝えられています。

愛情深く、常に民衆のことを思いやる懐の大好きな西郷どん。その志に、多くの若者が統きましたが、皮肉にもその情熱と命の火は、西郷どんと共に散りました。

西郷どんが城山に散ってまもなく、空に赤い大きな星が現れ、その中に軍服姿の西郷どんが見えると、人々は大騒ぎしました。誰ともなく「西郷星」と呼んで、錦絵に描かれるほど。じつは火星の大接近だったのですが、西郷どんを慕う民の心が、戦いの星「火星」に映し出されたのかかもしれませんね。

INFORMATION

明治維新150周年、30年度はこんなことをします

4月	<ul style="list-style-type: none"> 特別展① 「西郷どんを伝える“モノ”展」(29日～6月30日) 維新ふるさとCafe(毎日営業) 維新ふるさと館古書店(25日～5月7日) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> PTA講座「子どもと語る鹿児島の歴史」(27日) 歴史バスツアー① 市内編* 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回 歴史講座* 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 特別展② 「西郷どんと菊次郎」(仮)(1日～8月31日) 第2回 歴史講座* 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 創作歴史芝居 「ぼっけもんの夏～菊次郎とおごじょたち～ &歴史トークショー(仮)(3・4・5日) 特別展②関連 歴史シンポジウムI(10日)* 教職員歴史講座(16・17日) 「自由研究・歴史の質問引き受けます」(8月毎週水曜日) 	
※印は開催日、内容等は未定。講座、シンポジウム等は申し込みが必要です。 ※イベント等は開催時期、内容等が変更になる場合があります。		
9月	<ul style="list-style-type: none"> 第11回 西郷隆盛をしのぶ書道展(22日～10月21日) 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> スマホで西郷どんオリエンテーリング* 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 特別展③ 「西郷どんと庄内の人々」(仮)(15日～12月31日) 維新ふるさとCafe(30日まで毎日営業) 維新ふるさと館古書店* 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 特別展③関連 歴史シンポジウムII* 第3回 歴史講座* 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> 新春寄席* 第4回 歴史講座* 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 第5回 歴史講座* 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 第6回 歴史講座* 	



歴史の重みを醸し出す
「私学校跡の石垣」

西南戦争の鉄弾跡(鹿児島市城山町)

維新を歩く

藩政時代の面影を残す鶴丸城前の国道10号は、現在「歴史と文化の道」と名付けられていますが、その国道沿いにある「私学校跡」の石垣には、明治10年の西南戦争当時の弾痕の傷跡が無数に見られます。

ついに薩軍は延岡北方の可愛岳の麓に追い込まれ、ここで西郷は軍を解いたのでした。

しかし、私学校徒は「ここは死に場所ではない」として、夜中に崖をよじ登り、山頂の政府軍に斬り込みをかけて突破、2週間かけて9月1日、500人余りが鹿児島に突入、山野田一輔ら10数人は、警視隊300人余りが占拠するこの私学校に斬り込み、ついにこれを奪還したのでした。

4日午前3時には、貴島清や増田宋太郎ら100人程の決死隊(抜刀隊)が、二手に分かれて政府軍の拠点であった米蔵(現・市役所)に斬り込みますが、ほぼ全滅、以後薩軍は兵を10カ所に分け300人余りで城山に籠りました。しかし、4.5万ともいわれる政府軍に取り囲まれ、ついに9月24日、西郷らは終焉を迎えたのでした。

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)

維新 新 新



「ゆくさ おさいじやした通り」



薩摩藩独自の教育方法「郷中教育」などを映像を使った体験展示で楽しく学べます。押し相撲への挑戦や薩摩言葉で遊ぶのも楽しい。

⑤ 大河ドラマシアター



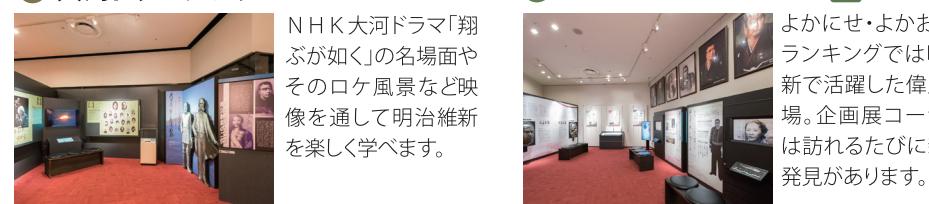
NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」の名場面やそのロケ風景など映像を通して明治維新を楽しく学べます。

⑧ 維新常設展示



薩英戦争絵巻、西郷の手紙、西郷手づくりの下駄などの遺品などを展示。また西南戦争で薩軍、政府軍に分かれて戦った主な鹿児島出身者などを紹介しています。

⑥ 薩摩の偉人・英雄列伝



よかにせ・よかおじょランキンでは明治維新で活躍した偉人が登場。企画展コーナーでは訪れるたびに新たなる発見があります。

⑦ 篠姫(天璋院)コーナー



13代将軍家定の御台所となり、幕末の大奥を束ね、徳川家存続に生涯を尽くした「篠姫」を紹介しています。

⑨ 薩摩まちあるき



デジタルサイネージなどを使用した観光情報コーナーです。まち歩きにご利用ください。

⑩ 維新ふるさとショップ



薩摩焼、大島紬など鹿児島の特産品や幕末・明治維新関連の書籍などを販売しています。

① ゆくさ おさいじやした通り



「ゆくさ、おさいじやした」とは鹿児島弁で「ようこそ、いらっしゃいました」という意味です。西郷隆盛や大久保利通などの薩摩の偉人たちが迎えます。

② 体験しやったもんせ「郷中教育」



薩摩藩独自の教育方法「郷中教育」などを映像を使った体験展示で楽しく学べます。押し相撲への挑戦や薩摩言葉で遊ぶのも楽しい。

③ 世界を見ていた薩摩



日本南の玄関・薩摩が、琉球を通じて中国貿易などで他藩に先駆けて西洋の新しい技術や文化を導入した過程を床面地図や映像で紹介しています。

④ あそんでみやんせコーナー



西郷隆盛生涯すごろくなど、自由に楽しんでください。ワークショップスペースとしても活用できます。



「あつという間に2時間が…」

少しだけのつもりが、あつという間に2時間経っていて、びっくりしました。大変見ごたえのある展示内容で大満足でした。とても勉強になりました。【三重県/50代女性】

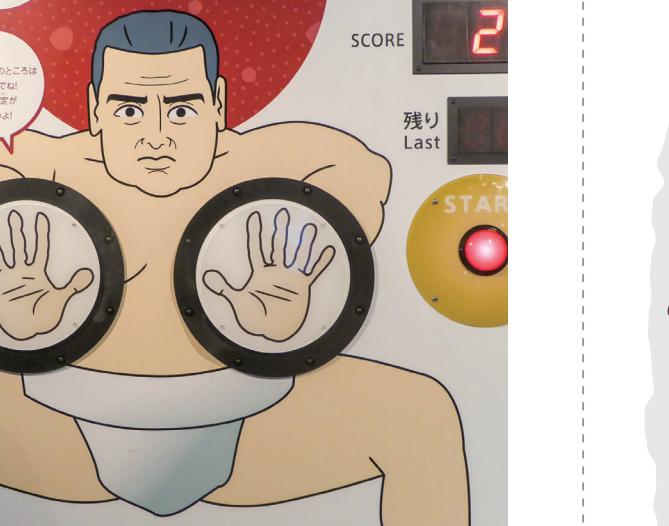
「子どもから大人まで楽しめますね」

5歳の孫と一緒に遊びに来ました。リニューアルしたというので楽しみにきましたが、期待通りでした。相撲のコーナーや、魚とりなど童心に帰って遊べるコーナーができるで、孫と一緒に遊べてとてもよかったです。子どもから大人まで楽しめる施設に生まれ変わりましたね！楽しかったです。【市内/60代男性】

外国人からのお客様も近年増加中。音声ガイドアプリを利用しながら、外国人のお客様にも当館を楽しんでいただいているようです。

今回のイチオシ

西郷さんと相撲

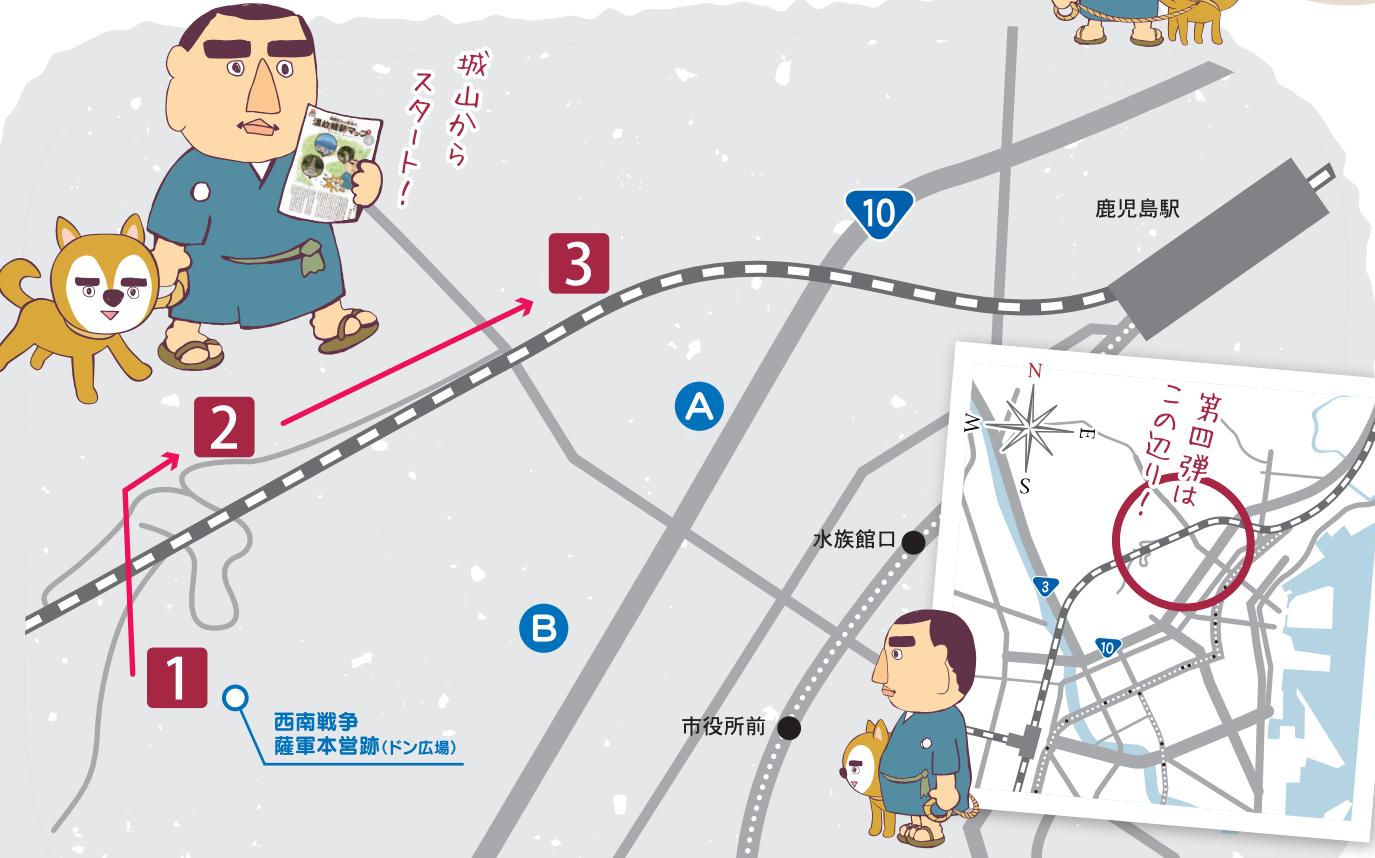


薩摩では、昔から武士の心身鍛錬の一環として「武芸・角力(相撲)・水練・山坂歩行」(島津忠良貴久連署捷書案)などが重視され、二才咄格式定目にも「山坂之達者、心懸くべき事」とされています。山坂達者とは、険しい坂道を上り下りして心身を鍛錬することで、郷中教育で大切にされた「負けるな」の精神を養うことにもつながります。相撲は一対一で対戦し、勝敗がはっきりしているので、稚児たちは負けた悔しさをバネに、自主的に体を鍛える努力をしたのです。

西郷さんは、祖父に似て小さい頃から体が大きく、力も強かったので相撲で負けることはなかったそうです。江戸の薩摩藩邸でも、誠忠組の若い藩士たちを集め相撲を楽しんだり、奄美大島や徳之島・沖永良部島でも、力自慢の人たちと相撲を楽しんだりしています。その後再び江戸で活躍する元治元年(1864)には、家老の小松帶刀の尽力で薩摩藩のお抱え力士となった陣幕久五郎とも西郷さんは相撲をとったといわれています。

今回リニューアルした体験しやったもんせ「郷中教育」で、子どもから大人まで人気があるのが「押し相撲に挑戦しよう」のコーナー。力士姿の西郷ボードの手のひらに、自分の手のひらをあわせ思い切り押すと、押した力が何キロか表示されるという趣向。1人で、また4・5人で精一杯押すことで力自慢を競うなどの趣向が受けているようです。

西郷どんが最後まで戦った地を、さるいてみよう！



1 城山

桜島や鹿児島市街地を一望できるのが魅力の城山展望台。大正天皇が皇太子の時代、市街地を御観覧される際に設置されたのがはじまりとされます。



2 西郷洞窟

洞窟の中は畳2畳程度。西郷さんは、明治10年9月24日未明までの5日間この洞窟で起居し、政府軍の城山包囲網の中、最後まで薩軍の指揮をとっていました。



3 西郷隆盛終焉之地

洞窟を出てすぐに撃たれた西郷さんが最期を迎えた場所。西郷さんは、共に戦った別府晋介の介錯によって最期を遂げたといわれています。



ひと休みしたら、もう少しだけ、足を伸ばしてみませんか？



A 私学校跡

政変で下野した西郷さんは、この地に私学校を創設し青年育成に力を注ぎました。石垣に残された多くの銃弾跡が、今なお西南戦争の激戦の様子を伝えています。



B 鶴丸城跡

明治百年(昭和41)年を記念して、「黎明館」が設立。鹿児島県の歴史や民俗、考古、美術、工芸など充実の展示内容を誇ります。鶴丸城の本丸跡にあたり、現在でも濠や石垣などにその面影をみることができます。